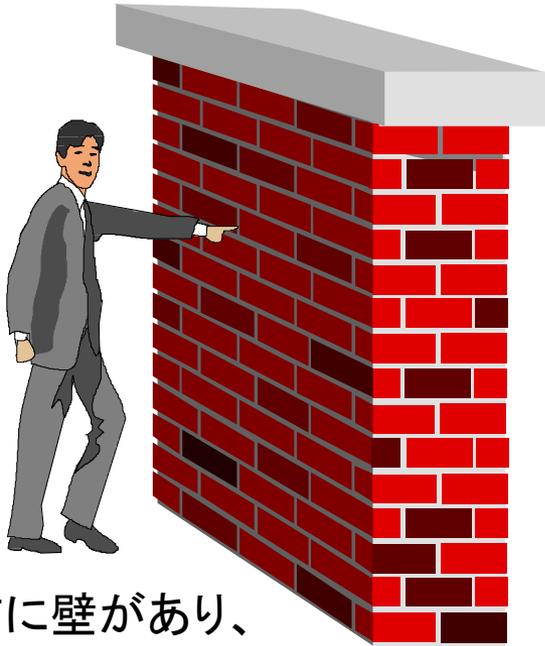
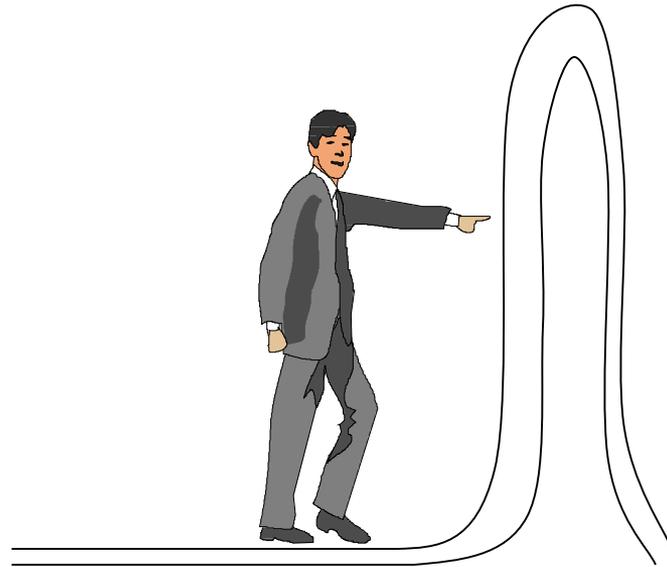


物体と空間の歪み

この世界で観測される物理量は、究極的に時間と空間だけである。
質量や速度や力やエネルギーなどの量はすべて時間と空間の組み合わせである。
従ってこの世界はすべて時間と空間の図だけで示すことができる。



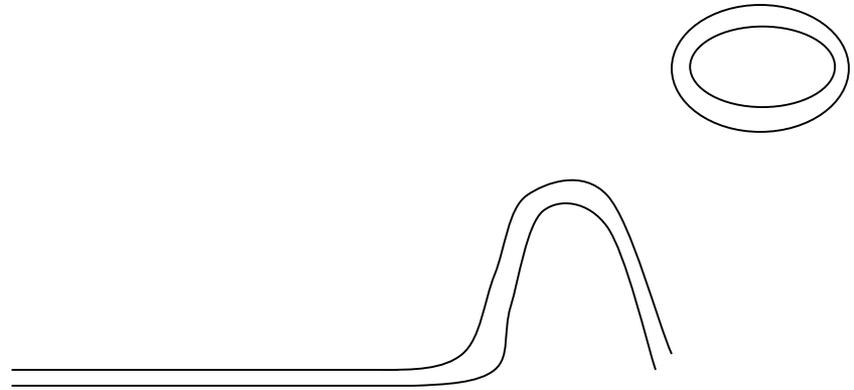
目の前に壁があり、
通りぬけることが出来ない



それは壁という何かがあるのではなく、空間が歪んでいるだけ

ただし、この空間の歪みは、一般相対性理論の重力によるものではなく、**電磁力**によるものであることに注意。

物体と空間の歪み



空間の歪みは力によって、
折り曲げることが出来る

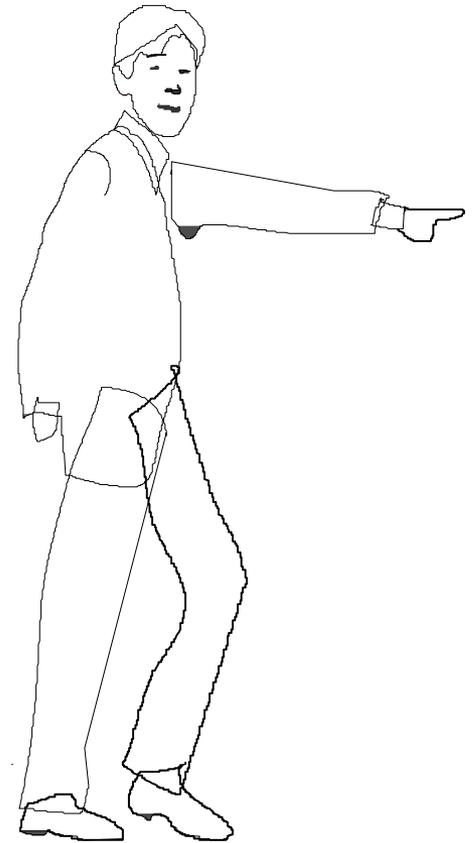
物体と空間の歪み

結局物体も空間が歪んでいるだけで何かがそこに存在しているわけではない



結局これは空間の歪み

人間も例外ではない。ヒトがそこに立っているということはただ空間がその部分だけ歪んでいることを示す。そこには歪んだ空間があるだけであり、他に何らかの存在があるわけではない。世界はすべて空っぽである。



アンシュタインの重力方程式によると、空間にエネルギー（何らかの物質）が存在するとその周りの空間が歪む。そうではない。この世界で観測されるものは時間と空間のみである。つまり、何かがあるから空間が歪むのではなく、空間の歪みそのものが物体である。